

僕の歯よ永久に……

三見中学校

二年

山根

将吾

「雀の歯とかえてくれ。」

「鼠の歯とかえてくれ。」

小さいころ、歯が抜けてはそう叫んで、家の屋根や家の下に投げていました。昔はそれが楽しみで、ぐらぐらする歯があれば、自分で抜いていました。ぬいたあとは、決まらず母に頼んで、夕飯にコーンを出してもらい、抜けたところに入れて遊びました。その様子

を見て、家族みんなで笑い、その拍子に口から飛び出たコーン。今となっては、懐かしい思い出です。こうして二十本あった僕の乳歯は、楽しい思い出に変わっていきました。

そして、僕の乳歯は生え変わり、今は一本もありません。もう新しい歯が生えないと思ふと、少しプレッシャーを感じてしまいます。そのため、定期的に歯医者さんに行つて、診てもらつています。そして、歯磨きのアドバイスをもらつています。奥歯をしっかりと磨く

ことや、糸ようじを使うように言われていま
す。そのアドバイスのおかげで、むし歯にな
ったことは一度もありません。

最近では、夜にコーヒーを飲むようになり
ました。コーヒーを飲むと、歯が黄色くなる
といわれます。だから、これまで以上にしっ
かりと歯磨きをしないといけないと思います。

大人になっても、おじいちゃんになっても、
自分の歯でおいしい物を食べたり、力が必要
なときには、自分の歯でくいしは、たりして
子供や孫にいいところを見せられるといいで
す。これからも、毎日かかさず歯磨きをして、
生涯にわたり自分の歯で生活することが目標
です。